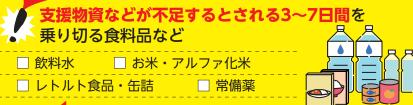


今年は阪神・淡路大震災から30 年。この間、東日本大震災や能登半 島地震も発生し、甚大な被害をもた らしました。大災害はいつ自分の身 に降りかかってくるか分かりません。

これらの震災の記憶を決して風化 させず、自身や家族のために災害へ の備えを確認しておきましょう。



飲食料の備蓄の目安=家族の人数×1日3食×7日(最低3日) ※飲料水は1人1日35%程度。

- 電気やガス、水道などのインフラが使えない場合に 備えて用意する物
- □ タオル・衣類 □ 卓上こんろ □ ビニール袋
- □ モバイルバッテリー・ソーラーバッテリー
- □ 携帯トイレ □ 衛生用品(洗口液、トイレットペーパーなど)

携帯トイレの備蓄の目安=家族の人数×1日5回×7F (1週間使用できない場合)



3月11日(火) 午後2時47分から3分間

(午後2時46分から1分間の黙とうを実施)

ところ あなたのいる場所

(周囲の状況に配慮してください)

訓練を通じて、地震時の身の守り方を改めて確認しましょう。

最初の1分

身を守る(シェイクアウト訓練)

「身を低くする」「机の下に潜る」「かばんで頭を覆う」など

次の1分

安全を確保する(火災発生防止・逃げ道確保などの訓練)

「こんろの火を消す」「戸や窓を開ける」など

最後の1分

情報を得る(情報収集の訓練)

「テレビ、ラジオやインターネットで情報を収集する」など

※避難するときは、ブレーカーを落としましょう。

問市役所危機管理課危機対策係☎(260)5728 网(261)4592

広報やまと 2025(令和7)年3月1日発行 人口と世帯 令和7年2月1日現在 **()内は前月比 人口: 244,121(-228) 世帯: 117,156(-110) 男性: 121,365(-130) 女性: 122,756(-98)